

Produttori del Barbaresco

プロドゥットーリ デル バルバレスコ

高品質のワインを生み出す、世界で最も優れた協同組合の一つ

バルバレスコは、王のワイン、バローロと並ぶ「女王のワイン」として知られていますが、19世紀末までバローロ程の知名度はなく、バルバレスコで収穫されたネッピオーロからバローロのワインが作られることもよくありました。バローロとバルバレスコの違いを初めてラベルで明確に区別したのが1894年に9つのブドウ農家を結集し、バルバレスコ初の生産者組合カンティーネ・ソシアーリを創設したドミツィオ・カヴァッツァでした。同組合は1930年に解散しましたが、1958年、小さなブドウ農家を存続させるため、教会の司祭の下で19軒の農家が結集し、プロドゥットーリ・デル・バルバレスコが誕生しました。



ワイン・アドヴォケート1990年2月号でロバート・パーカーに「世界のどの協同組合よりも高水準のワイン作りを継承している」と言われ、トップ生産者の地位を確立し、今や50以上の農家が加盟。畑の総面積は120haに及びます。組合の方針で各々の畑は、畑の所有者である農家が独自に管理し、伝統を守りながら上質なネッピオーロを育てています。樹齢7年以上の畑から選定した凝縮感のある濃厚なバルバレスコと、樹齢7年以下の若い畑から採れた軽快な味わいのネッピオーロ・ランゲを毎年リリースし、特に良い年にも、単一畑のリゼルヴァが9種類生産され、ボルドーワインのように長期熟成の効く極めて上質なワインを輩出しています。【写真:カンティーネ・ソシアーリの創設者ドミツィオ・カヴァッツァ】

品質重視をモットーに掲げ、ブドウの品質基準を厳しく設定しているため、最良の出来のブドウのみが納入を許され、収穫したブドウは傷がつかないように小さなカゴに入れて運ぶなど、その取り扱いにも厳格な指定がなされています。こういった厳しい取り決めのお陰もあり、協同組合でありながら高品質のワインを造り出すことができ、世界でも最も優れた協同組合の一つとされています。



■2017 ヴィンテージ情報■ 2017年は、雨の少なかった暑い年として記憶されています。冬は温暖で降雪も少なかった一方、春は幾日か雨の降る日があり、3月の気温は平均を下回りました。4月21日と22日の早朝に気温が急降下し、記録的な寒さとなり一部で霜害をもたらしました。特に標高の低いバルバレスコの丘陵地ではこの被害が著しく、バルバレスコ全域で10%の収量減となりました。その一週間後には局地的な雹害がバルバレスコのオペラシオンを直撃し、コッタ、サン・クリストフォロ、クッラ、バサリンなどの畑で50~90%の収量減となりました。5月初旬にオヴェロの畑を再び雹が襲いましたが、これによる被害は比較的軽く、10%の収量減に留まりました。その後は、非常に乾燥した雨の少ない暑い日が続きました。夏のこの乾燥した気候が、雹害や霜害でダメージを受けた葡萄の回復に一役買い、衛生状態が改善されて健康状態の良い葡萄が育ちましたが、水不足により収量が落ち、果皮の厚みが増して果粒が小さくなりました。これは、高い品質を示す良い兆候でもあります。9月1日によく降水量5ミリ程の小雨が降り、干ばつの続いた夏の気候パターンに重要な変化をもたらしました。その後は、カラッと乾燥した晴天が続きましたが、短期間の天候の崩れにより昼夜の寒暖差が著しく、バランスの良いアロマと酸を蓄えました。この年の収穫は非常に早く9月19日に開始しました。2017年は、例年平均20%の収量減の低収量の年となりましたが、果実のクオリティは実に素晴らしく、円熟した果実味と骨格の良いタニックなストラクチャーを備えたバランスのとれたワインに仕上がりました。

■2019 ヴィンテージ情報■ この年は、3月中旬まで雨が多く、気温が低い時期が続きましたが、ブドウの生育は例年通りに進みました。多量の雨が冬の僅かな雨量を補い、土壌に十分な水分が蓄えられました。5月中は平均的にあたたかく変わりやすい天候が続き、過去数年間と比較して2週間程、生育の遅れが確認されました。6月は気温が高く、土壌の水分量も多かったため、ブドウの生育が急速に進みました。最も暑かった6月末~7月初旬以降は、穏やかな気温と降雨が交互に続きました。7月末にこの夏2回目の熱波が到来し、時折激しい嵐に見舞われたものの、ブドウへの被害はありませんでした。その後は、断続的に雨が降り、穏やかな気候でした。9月初旬に入ると、気候に大きな変化がみられました。気温がかなり低く、雨も降りましたが、ランゲ地方の他の地域で発生した雹は降りませんでした。以降は、昼夜の寒暖差が大きくなり、気温の上昇がみられました。全体的に良好な気候条件下、ネッピオーロの香気成分はゆっくりと適切な成熟度を迎え、10月8~18日に収穫を行いました。全体的に前年より低収量となりましたが、収穫したブドウは糖度が高く、良質なポリフェノールを備えていることから、しっかりとしたストラクチャーのある、素晴らしい熟成ポテンシャルを持ったワインになることが期待されます。

■2020 ヴィンテージ情報■ 2020年の生育期は、穏やかな乾燥した冬で幕を開けました。気温は平均を上回り、雨や雪はほとんど降りませんでした。春前半は比較的乾燥し、晴天に恵まれ、3月初旬に芽吹きが始まりました。4月、5月は数日間雨が降り、6月下旬まで不安定な天気が続いたため、成長スピードが遅れがみられました。夏は熱波に見舞われたものの、これまでに降った雨のおかげで地中に十分な水分を蓄えることができ、ブドウの樹が水分不足に陥ることはありませんでした。9月末になると、夜間は涼しく、アロマの凝縮度が高まりました。収穫期を迎えたネッピオーロは、アロマ、タンニンともにバランスが良く、見事な酸と十分な糖度を備えていました。この年のバルバレスコは、非常に素晴らしく、中期熟成に耐えるポテンシャルと複雑性を備えています。

■2022 ヴィンテージ情報■ この年は、多くの地域で平均気温を上回り、雨はほとんど降らず、乾燥していました。生育期は、穏やかな冬で幕を開け、続く春は十分な雨量に恵まれました。6月、7月に入ると暑く乾燥した気候が続き、水不足が懸念されました。しかし、8月は風雨に数回見舞われ、その雨のおかげでブドウの樹は活力を取り戻しました。8月以降は、特に夜は涼しく、ブドウは理想的な成熟を迎えました。収穫は、9月上旬にスタートさせたところが多くみられました。2022年の赤ワインは、濃厚な色合いで、凝縮感と豊かな果実味を備えた味わいに仕上がっています。

■2023 ヴィンテージ情報■ 生産者にとって非常に厳しい年でした。近年の気候変動の影響を受け、晩春から初夏にかけて洪水や雹、干ばつが発生しました。例年になく大雨により、多くの畑でべト病が蔓延し、この年の生産量は、前年に比べて約20%減少しました。しかしながら、被害を免れたブドウの樹からは、少量ながらも健全なブドウが収穫でき、香り味わいともにクオリティの高いワインが作られました。

~Nebbiolo Langhe~ 若いうちから楽しめる鮮やかな果実味

2023 Nebbiolo Langhe

ネッピオーロ ランゲ

上代価格 ¥4,400(税抜)

JAN: 4543190214025

■**テクニカル情報**■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州 D.O.C.ランゲ 品種:ネッピオーロ 100% 樹齢:7年以下 畑の向き:南、西、東 土壌:カルシウムに富んだ石灰岩と粘土の混じる砂質土壌 醸造:ステンレスタンクを使用し28℃で発酵。日に2度ルモンタージュしながら20日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵後、オークの大樽で4ヶ月熟成。生産量:約120,000本

■**コメント**■ミディアムボディで、熟した赤系果実のアロマにホワイトペッパーやアニスのスパイシーなニュアンスが香る。

★**パーカーポイント 92点**:外観は輝きのあるルビー色。ブルーベリーや酸っぱいラズベリーのような歯ごたえのある果実味が広がる。バルバレスコに使用しない畑やより温暖なマイクロクリマの気候下で育ったブドウを使用。《**飲み頃:2024-2029年 | 2025/1/31 掲載**》

★**ヴァイノス 90点**:プロドットーリのエントリーレベルのワインだが実に味わい深い。漬した花や甘い赤系果実、チョーク、ミントの香りが綺麗にふわりと立ち上る。芳醇なミディアムボディの味わいで、全ての面で期待を裏切らない。バルバレスコ指定区画のブドウを使用した非常に希少なワイン。魅力的な一本。《**飲み頃:2025-2031年 | 2025/10 掲載**》

他誌評価:★**ワイン・エンスージヤスト 92点** ★**ワイン・スペクテーター 89点**



~Barbaresco Riserva~ 多様なテロワールが生み出す多彩な味わい

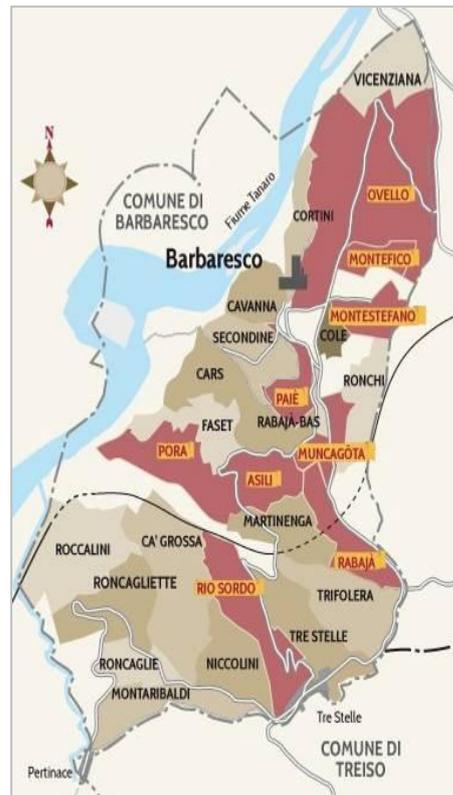
イタリアで最も権威あるワイン誌の一つ『ガンベロ・ロッソ』で最高評価のトレ・ビッキエリを獲得したプロドットーリ・デル・バルバレスコが手掛けるバルバレスコの9つのリゼルヴァは、偉大な年にもみ作られ、収穫年から5年の歳月を経てリリースされます。各々の畑の個性を最も純粋かつ最高の形で味わえるよう、全て同じ醸造方法で仕込まれます。

■**テクニカル情報**■ 産地:イタリア北部ピエモンテ州クーネオ県/D.O.C.G.バルバレスコ地区 醸造:ステンレスタンクで30℃の温度に保ちながら約28日間マセラシオン、完全にマロラクティック発酵。大樽で30~36ヶ月熟成させた後、最低8ヶ月瓶内熟成 相性料理:生卵を使ったパスタ、リゾット、白身肉、赤身肉、ジビエ、鹿肉 熟成ポテンシャル:収穫年から約25年

■**品種**■ バルバレスコ地区で栽培されたネッピオーロ100%。13世紀からピエモンテで栽培されているこの品種は、奥深く魅惑的な風味を持ち、熟成に時間がかかり、畑の土質や天候から影響を受けやすいため、テロワールの個性がワインの香りや味わいに色濃く反映されます。

■**気候**■ 暑い夏と穏やかで暖かい春と秋、雪の降る寒い冬の気候が特徴的で、年間の気温は-10℃~35℃。日照時間がブドウの品質を大きく左右するため、プロドットーリ・デル・バルバレスコのネッピオーロは、主に南向き、南西向き、南東向きの日当たりの良い斜面に植樹されています。

■**ワイン・アドヴォケート誌#235 2018年6月30日掲載記事**■ この有力な協同組合が作るリゼルヴァ・クリュ・セレクションは、1978年を初回ヴァンテージに生産を開始し、良い年には全てのリゼルヴァを生産し、そうでなければ全く作られない。それがカンティーナの醸造哲学だ。ジェネラル・マネージャーのアルド・ヴァッカ氏曰く、組合に加盟するブドウ農家は今や54組に上り、このうち4組がここ3年間のうちに新たに加盟したメンバーだと言う。畑面積は、総じて100ヘクタール(年間生産量は、平均50万ボトル)。組合員の農家がそれぞれ所有する畑の面積は非常に小さい。ワイン作りに関しては、全てのリゼルヴァが全く同じ醸造方法で作られている。発酵は、最長5週間マセラシオンさせ、最初の2~3週間の間、頻繁にルモンタージュを繰り返す。この長期におよぶマセラシオンは、ワインが果皮から分離するまでゆっくりと時間をかけて行われる。その後、マロラクティック発酵が完了するまでステンレスタンクとコンクリートタンクで休ませる。ワインは2月の寒い気候の中で自然と安定化し(この結果、ネッピオーロは幾分色合いが薄くなる)、その後、容量25~55ヘクトリッターの大樽に移され、3年間熟成する。この間ワインは2度澱引きされ、頻繁にウィヤージュが施される。清澄処理は一度も行わない。これらのリゼルヴァ・ワインは、通常リリース前に9ヶ月間の瓶内熟成を経るのが常だが、市場での需要を満たすため、昨今はこの期間を短くしている。



2019 Barbaresco Riserva Pora
2020 Barbaresco Riserva Pora

上代価格 ¥11,500(税抜)
上代価格 ¥11,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ ポーラ

JAN:4543190214179(2019VT), 4543190214575(2020VT)

川の傍に位置する肥沃なポーラの畑は、リッチで恰幅の良い果実味と大地の香り、早熟なタンニンの特徴とするミディアムボディのワインを生みます。

畑の向き:南、南西 面積:10.7ha 標高:200-280m 土壌:石灰・石灰岩・砂 醸造:30°Cで発酵。28日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。

【2019VT】 オークの大樽で36ヶ月熟成後、8ヶ月瓶内熟成。生産量:16,666本

【2020VT】 オークの大樽で30ヶ月熟成後、9ヶ月瓶内熟成。生産量:20,000本



2019VT★パーカーポイント94点:2020年よりも冷涼であった2019年ポーラは、クラシックなスタイルに仕上がっている。ミディアムボディの濃厚な味わいで、ピロードのような質感を併せ持つ。ブラックベリーやスパイス、土のニュアンスが香る。やや力強いタンニンを備えながらも柔らかさと親しみやすさを併せ持つ魅力的なワイン。やや熟成が進んでいて、短期または中期熟成でその真価を発揮するだろう。《飲み頃:2025-2048年 | 2025/1/31 掲載》

2019VT★ジェームス・サックリング93点:赤スグリやチェリーの魅力的なアロマにスギ、クルミ、砕石のニュアンスが香る。豊潤な味わいで、生き生きとした果実味と堅牢でチョーキーなタンニンを持つ。ミディアム〜フルボディ。やや噛み応えのある長い余韻にビター・オレンジのアロマが漂う。《飲み頃:2027年以降 | 2024/5/30 掲載》 2019VT 他誌評価:★ヴィノス92点 ★ワイン・エンスージスト96点

2020VT★ワイン・スペクテーター94点:チェリーやブラックベリーのアロマにユーカリやメントールのようなバルサミックなニュアンスが香る滑らかな赤。空気に触れるにつれて、果実の風味が強まり、肉付きの良いテクスチャーが浮かび上がる。土やタール、リコリスの香りが漂う長い余韻。バランスの良い味わいで、短期〜中期熟成に耐える十分なタンニンを持つ。《飲み頃:2026-2040年 | 2025/4/23 掲載》

2020VT★パーカーポイント93点:9種類のリゼルヴァのうち最初に試飲したワイン(全9種類のリゼルヴァは、飲み進めるに従って濃厚さや力強さが増えていく順番で試飲した)。外観は、中程度の明るさで、ガーネット色を帯びている。ワイルド・チェリーやカシス、青い花のアロマがあり、砕いた石灰岩のようなニュアンスも微かに漂う。ポーラの畑は、暖かい空気が滞留しやすいタナロ川沿いにあり、肥沃な土壌でブドウが栽培されている。この地域特有の高い気温と湿度により、親しみやすく、早くから楽しめるワインに仕上がる。

《飲み頃:2025-2045年 | 2025/1/31 掲載》 2020VT 他誌評価:★ヴィノス93点

2019 Barbaresco Riserva Pajé
2020 Barbaresco Riserva Pajé

上代価格 ¥11,500(税抜)
上代価格 ¥11,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ パイエ

JAN:4543190214162(2019VT),4543190214568(2020VT)

9つの畑の中で最も小さいパイエは、四方を山で囲まれた半円形の盆地で、朝は冷涼で午後は暑く、酸味の強い若々しくフレッシュな果実味が特徴です。鮮やかで生き生きとした快活さを湛えつつも複雑味のある濃厚な味わいで、バランスのとれたタニックな後味が広がります。

畑の向き:南西、西 面積:1.8ha 標高:220-260m 土壌:石灰・石灰岩・砂 醸造:30°Cで発酵。28日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。オークの大樽で30ヶ月熟成後、9ヶ月瓶内熟成。

【2019VT】 生産量:10,000本 【2020VT】 生産量:13,333本

2019VT★パーカーポイント94点:外観は、紫がかかった中程度の色の濃さで、赤スグリやバラ、スパイシーなカルダモンのアロマを持つ。鉄や金属的なミネラルの美しいニュアンスも香る。シルキーな質感と溶け込んだタンニンが親しみやすい個性を表している。《飲み頃:2025-2048年 | 2025/1/31 掲載》

2019VT★ヴィノス93点:2019年のパイエは個性に溢れている。力強いミネラルやフローラルなニュアンスを帯びた芳醇なアロマがグラスから勢いよく香り立つ。細く連なるように広がるタンニンを持つ。力強く、若いパイエは、その真価を発揮するまで数年かかるだろう。とはいえ、そのすべての特徴は色濃く表れている。《飲み頃:2026-2039年 | 2023/9 掲載》

2019VT 他誌評価:★ジェームス・サックリング93点 ★ワイン・エンスージスト94点

2020VT★ヴィノス95点:この場所を象徴するクラシックなワイン。深みのあるスパイスやバルサミックなニュアンスが黒く、セピア色を帯びたネッピオーロの果実味と見事な調和を見せる。重厚感を備えた圧倒的存在感を放つバルバレスコ。このレンジの中で私が早くから注目してきた隠れた逸品の一つ。《飲み頃:2025-2035年 | 2024/9 掲載》

2020VT★ワイン・スペクテーター94点:力強くしっかりとした骨格が顕著に表れたワインで、チェリーやブラックベリー、土、野生のハーブ、タールの風味を濃密なタンニンが支えている。迷路のような複雑な味わいに仄かに果実味が感じられ、終盤に向けてタンニンが支配的になっていく。タンニンが主張し過ぎることは全くなく、ワインに長い余韻をもたらす。《飲み頃:2029-2045年 | 2025/4/23 掲載》

2020VT 他誌評価:★パーカーポイント93点



2019 Barbaresco Riserva Ovello

上代価格 ¥ 11,500(税抜)

2019 Barbaresco Riserva Ovello

【1500ml】 上代価格 ¥ 23,000(税抜)

2020 Barbaresco Riserva Ovello

上代価格 ¥ 11,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ オヴェロ

JAN:4543190214155(2019VT),4543190214216(2019VT/1500ml),
4543190214551(2020VT)

9つの畑の中で最も広いオヴェロの畑は粘土質が強く、逞しい力強さと重厚なボディが特徴です。高地の冷涼な気候により、果実味がより強く引き出され、若々しいアロマが感じられます。

畑の向き:南西、西、南東 面積:20.3ha 標高:250-320m 土壌:石灰・石灰岩・粘土 醸造:30℃で発酵。28日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。オークの大樽で30ヶ月以上熟成後、9ヶ月瓶内熟成。

【2019VT】生産量:16,628本+1,686本(マグナム) 【2020VT】生産量:19,425本+1,954本(マグナム)

2019VT★パーカーポイント94点:2019年オヴェロは、一緒に試飲した2020年よりもエレガントなミネラル感が際立ち、より引き締まった印象。このワインは、まだ飲み頃に達しておらず、今の若い段階では少しシャイで閉ざした印象だ。タンニンはとてもバランスが良く、リッチで密度が高い。緊張がほぐれ、馴染むまでもう少し時間が必要だ。

＜飲み頃:2026-2050年 | 2025/1/31 掲載＞



2019VT★ヴィノス94点:2019年のオヴェロは、力強く、風味豊かで非常に直線的。典型的なオヴェロのスタイルで、堂々とした力強いタンニンの奥に今後数年かけて変化していく豊かな果実味が感じられる。今回のテイastingで、瓶詰後のオヴェロはかなり閉じているような印象を受けたが、バランスの良さや品質の高さは健在だ。クリーンな塩気のニュアンスが素晴らしく長い余韻を生む。

＜飲み頃:2026-2041年 | 2023/9 掲載＞ 2019VT 他誌評価:★ジェームス・サックリング 93点 ★ワイン・エンスージアスト 95点

2020VT★パーカーポイント95点:オヴェロの畑は、一部、北向き斜面に位置しており、概して冷涼な栽培地とされる。そのため、力強い果実味と顕著なタンニンを備えたワインを想像してしまうが、2020年オヴェロにはまさにその特徴が表れていた。ブドウが成長し始める時期はかなり遅く、成熟するまで長い時間が必要だが、濃密で力強いアロマを持つワインに仕上がる。冷涼な年は、タンニンは鋭くなりがちであるものの、2020年のように暑い年は、バランスが良い。鉄や錆びた釘のようなニュアンスに続いて、チェリーのような甘みが広がっていく。

＜飲み頃:2026-2050年 | 2025/1/31 掲載＞

2020VT★ワイン・スペクテーター95点:干し草やチェリー、ラズベリー、バラのアロマを特徴とするエレガントな赤。幾重にも重なる繊細なタンニンが全体を支え、輪郭のはっきりとした味わいがミネラル感を伴う余韻に広がる。見事な凝縮感と緊張感を備えたワイン。

＜飲み頃:2028-2045年 | 2025/4/23 掲載＞ 2020VT 他誌評価:★ヴィノス 95点

2019 Barbaresco Riserva Rio Sordo

上代価格 ¥11,500(税抜)

2020 Barbaresco Riserva Rio Sordo

上代価格 ¥11,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ リオ ソルド

JAN:4543190214193(2019VT), 4543190214599(2020VT)

バルバレスコ南部に細長く伸びるリオ・ソルドは、土壌のカルシウム量が低いいためタンニンが軽く、シルクのような滑らかさを湛えたエレガントなスタイルが特徴です。

畑の向き:南西 面積:4.5ha 標高:220-240m 土壌:石灰・石灰岩・砂 醸造:30℃で発酵。28日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。オークの大樽で30ヶ月熟成後、9ヶ月瓶内熟成。

【2019VT】生産量:10,000本 【2020VT】生産量:13,333本

2019VT★パーカーポイント96点:控えめなポーラとパイエに続く、この小さなサラブレッドの登場。プロドゥットーリ・デル・バルバレスコのテイastingは、最も繊細なスタイルのリゼルヴァからスタートし、最も力強いもので終わりを迎えるが、2019年リオ・ソルドでテイastingのベースが加速し、勢いが増す。豊潤なワインで、直線的でタイトな味わいにダークフルーツの風味が広がる。果実の持つ深みと複雑さ、そしてきめ細やかなチョーキーなタンニンに気付くだろう。

＜飲み頃:2025-2052年 | 2025/1/31 掲載＞



2019VT★ジェームス・サックリング 95点:淡いルビー色。驚くほど控えめで、葉のようなニュアンスを持つ。非常にエレガントで、リコリス、甘いスマイル、ミネラル、チェリーの種、桃の皮の風味が広がる。重層的な複雑味を備えたワインは、堅牢で、パウダー状のタンニンがあるものの、ピロードのような滑らかさと熟した味わいを持つ。重厚感やキレのある酸がまったりとしたフィニッシュとうまく調和している。美味しい。今飲んでよいが、2034年以降がベスト。＜飲み頃:2034年以降 | 2024/5/30 掲載＞

2019VT★ヴィノス93点:このヴァンテージの中でもリオ・ソルドは、かなり奥深い。黒果実の深みが際立つ。非常に力強いリオ・ソルドで、今もなお、変化し続けている。この畑のワインから想像できるフィネスはさほど感じられないものの、かなり力強い。現時点では、ワインのエネルギ―は全て、内側に向かっている。＜飲み頃:2026-2041年 | 2023/9 掲載＞ 2019VT 他誌評価:★ワイン・エンスージアスト 91点

2020VT★パーカーポイント94点:2020年リオ・ソルドには、タナロ川からさらに離れた地域にある南西向き畑のブドウが使用されている。ネッピオーラらしさが表現されたワインで、濃厚な果実味に加えて、ピロードのような滑らかな質感やしっかりとしたボリューム感があり、ブラックベリーやカシス、スパイスの豊かな風味が広がる。このワインは、ふくよかで濃密な味わいを特徴としている。例えるなら、骨のまわりにたっぷり肉がついているような感じ。＜飲み頃:2026-2050年 | 2025/1/31 掲載＞

2020VT★ワイン・スペクテーター94点:チェリーやイチゴ、バラを思わせる豊かな香りにミネラル、ホワイトペッパー、アニスのニュアンスが漂う。しっかりとした骨格を持つ生き生きとした味わいでありながら、調和がとれていて親しみやすい。今飲んで楽しむが、急ぐ必要はない。

＜飲み頃:2026-2040年 | 2025/4/23 掲載＞ 2020VT 他誌評価:★ヴィノス 94点

2019 Barbaresco Riserva Asili

上代価格 ¥12,500(税抜)

2020 Barbaresco Riserva Asili

上代価格 ¥11,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ アジリ

JAN:4543190214117(2019VT), 4543190214513(2020VT)

アジリは、石灰質の強い土壌のため、バルバレスコのワインの中で最も洗練されたエレガントなスタイルで人気が高く、複雑味のある濃厚な味わいを持ち、赤果実のアロマが豊かに香ります。

畑の向き:南、南西 面積:2.28ha 標高:230-290m 土壌:石灰・石灰岩・砂 醸造:30℃で発酵。28日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。オークの大樽で30ヶ月熟成後、9ヶ月瓶内熟成。生産量:13,333本

2019VT★パーカーポイント96点:2019年アジリは、ダークフルーツのアロマにパウダリーなシナモンやナツメグのニュアンスが溶け込んだスパイシーなアロマを特徴としている。飲み頃を迎えた開放的なワインで、鉄を含んだ土や錆びた釘を思わせる心地よいミネラルのニュアンスも感じられる。2019年は、ボリューム感とテクスチャーが際立つ。《飲み頃:2025-2050年 | 2025/1/31掲載》



2019VT★ヴィノス94点:とても美しいシルキーな質感を持つ上質なミディアムボディ。潰した花や甘いレッドベリー、スギ、ミント、タバコの風味がこの洗練されたバルバレスコを彩る。2019年はクラシックで、この年特有のしっかりとしたタンニンを持つ。

《飲み頃:2026-2041年 | 2023/9掲載》

2019VT★ジェームス・サックリング94点:熟したチェリーを思わせる若々しい果実やスマイレの香り。ミディアムボディで、堅牢な味わいにエキス分が感じられる。緻密なフィニッシュ。やや野趣を帯びたタンニンを持つ。熟成により、さらに発展し、複雑さが増すだろう。

《飲み頃:2034年以降 | 2024/5/30掲載》 2019VT他誌評価:★ワイン・エンスージアスト93点

2020VT★ヴィノス96点:華やかで魅力的なワイン。濃厚な果実味とそれを支えるしっかりとしたストラクチャーが見事な調和を見せる。多くの要素が詰め込まれた深みと複雑性。あまたある同レベルのワインと比べても明らかに数ランク上の味わい。現時点でやや控えめなのは、最近瓶詰されたばかりだからかもしれない。素晴らしい奥行きと広がりのある余韻が印象的。《飲み頃:2025-2035年 | 2024/9掲載》

2020VT★パーカーポイント95点:9月末まで夜間は気温が低かったため、見事なバランスとフレッシュ感を備えたワインに仕上がった。アジリはボーラからさほど遠くない場所にあり、ともに類似した砂質土壌から成るものの、アジリの区画にはタナロ川の暖かい空気が流れ込んでこない。その結果、このワインはより深みがあり、柔らかなタンニンや直線的なテクスチャーを伴う明瞭な輪郭を持つ。全体として、2020年は早くから楽しめるが、ネッピオーロならではの奥行きを感じる。9種類あるリゼルヴァシリーズのうち5番目に味わった。濃厚さや力強さという点で、シリーズの中で中間に位置する。《飲み頃:2026-2050年 | 2025/1/31掲載》 2020VT他誌評価:★ワイン・スペクテーター95点

2019 Barbaresco Riserva Rabaja

上代価格 ¥12,500(税抜)

2019 Barbaresco Riserva Rabaja

【1500ml】上代価格 ¥24,000(税抜)

2020 Barbaresco Riserva Rabaja

上代価格 ¥11,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ ラバヤ

JAN:4543190214186(2019VT), 4543190214223 (2019VT/1500ml),

4543190214582(2020VT)

2019VTがジェームス・サックリング Top 100 Wines of Italy 2024 に選出(97位)されました。

ラバヤは、バルバレスコの特徴を全て兼ね備えています。複雑味のあるエレガントな味わい、シルクのように口当たり滑らかなタンニン、濃厚な黒果実の風味が広がる後味が印象的です。

畑の向き:南西 面積:3.7ha 標高:240-300m 土壌:石灰・石灰岩・砂 醸造:30℃で発酵。28日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。オークの大樽で30ヶ月熟成後、9ヶ月瓶内熟成。

【2019VT】生産量:16,920本+1,540本(マグナム) 【2020VT】生産量:16,256本+1,872本(マグナム)

2019VT★ジェームス・サックリング96点:中程度の明るさの鮮やかなルビー色。甘いスマイレや葉、赤スグリのアロマを持つ。スマイレのニュアンスが香るミディアムボディで、ピロードのようなタンニンと爽やかな酸があり、爽快な余韻がどこまでも続く。厳格だが個性的。時間とともに花開いていくだろう。《2024/11/7掲載》



2019VT★パーカーポイント96点:ラバヤは、深みのある、がっちりとした味わいのため、このヴィンテージの9本のワインのうち最後から3番目にサーブした。ギュッと詰まったカシスの風味を砕石やスパイス、燻製肉の柔らかなニュアンスが縁取る。官能的でモーキー。《飲み頃:2025-2052年 | 2025/1/31掲載》 2019VT他誌評価:★ヴィノス94点 ★ワイン・エンスージアスト98点

2020VT★ヴィノス97点:2020年ラバヤは、このシリーズの中も群を抜く出来栄。深みのある鮮烈なワインで、重厚感を伴う濃密でコクのある味わいが広がる。ブラックチェリーやプラム、革、クローブ、メントール、リコリス、砂利のような香りが口中で弾ける。長期熟成のポテンシャルを秘めたワイン。飲み頃まで少し待ったほうが良いだろう。《飲み頃:2025-2035年 | 2024/9掲載》

2020VT★パーカーポイント95点:ラバヤは、9種類のリゼルヴァの中で最も骨格がしっかりしていて、力強く、明瞭かつシャープな味わいの特徴としているため最後に試飲した。無駄のない引き締まった味わいで、並みならぬエネルギーを秘めている。カシスやブラックベリーを思わせる歯ごたえのあるタイトな果実味。ラバヤの特徴である綺麗なミネラル感がチョーキーでパウダリーな余韻を生む。

《飲み頃:2026-2050年 | 2025/1/31掲載》 2020VT他誌評価:★ワイン・スペクテーター95点

2019 Barbaresco Riserva Muncagota
2020 Barbaresco Riserva Muncagota

上代価格 ¥11,500(税抜)
上代価格 ¥11,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ ムンカゴタ

JAN:4543190214148(2019VT),4543190214544(2020VT)

ムンカゴタは、標高が高く南東向きのため、朝日の日照量が多く、午後は涼しくなります。ワインは、モンテフィコに似てタンニンが強く、濃厚でフルーティな果実味、フローラルなアロマが特徴です。ミネラル感が少ない分、エレガントな花のアロマがより際立ち、硬質なタンニンが後味に広がります。

畑の向き:南東 面積:4.5ha 標高:250-300m 土壌:石灰・石灰岩 醸造:30°Cで発酵。28日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。オークの大樽で30ヶ月熟成後、9ヶ月瓶内熟成。
【2019VT】生産量:10,000本 【2020VT】生産量:13,333本

2019VT★パーカーポイント95+点:深みのある2019年ムンカゴタの香りは、最初は奥ゆかしく、少し控えめな印象だが、時間とともにチェリーやカシス、柔らかな土の繊細なニュアンスを帯びていく。シルキーな質感を備えたミディアムボディの心地よい味わいでフレッシュ感が長く続く。《飲み頃:2025-2050年 | 2025/1/31掲載》

2019VT★ジェームス・サックリング94点:ラズベリーや森のベリーのアロマに黒鉛や茶葉、ココアのニュアンスが香る。ミディアムボディで、中盤は洗練されたシルキーな口当たり。堅牢で噛み応えのあるフィニッシュ。全体的にフレッシュで生き生きとしている。《飲み頃:2027年以降 | 2024/5/30掲載》 2019VT他誌評価:★ヴィノス93+点 ワイン・エンスージアスト94点

2020VT★ワイン・スペクテーター95点:広がりのあるしなやかなワインで、プラムやブラックチェリー、ブラックベリーのアロマを持ち、生き生きとした酸が緻密な味わいを生む。引き締まった味わいにリコリスや土、鉄のニュアンスが漂い、ワインに深みをもたらす。きめ細やかなタンニンを伴う長い余韻にミネラリーなニュアンスが広がる。《飲み頃:2028-2045年 | 2025/4/23掲載》

2020VT★パーカーポイント94点:2020年ムンカゴタは、非常に力強くふくよかな味わいだが、現時点ではまだ完全にまとまりきれていない。この畑は温暖な栽培地域にあり、熟したアロマやタンニンの柔らかさがこの年の暑さを象徴している。大胆な筆さばきで描かれたようなワインで、ブラックベリーやプラム、スパイスの風味が広がる。あと1-2年熟成させれば、焦点が定まり、より明瞭な輪郭を持つようになるだろう。《飲み頃:2026-2048年 | 2025/1/31掲載》 2020VT他誌評価:★ヴィノス94点



2019 Barbaresco Riserva Montefico
2020 Barbaresco Riserva Montefico

上代価格 ¥11,500(税抜)

上代価格 ¥11,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ モンテフィコ

JAN:4543190214124(2019VT), 4543190214520(2020VT)

リゼルヴァの中で最もボディが重く、石灰質の強い緻密な土壌のためタンニンが強く、しっかりとしたアロマとミネラルが豊かに感じられる後味が特徴的です。全体の印象は、ふくよかと言うよりもすっきりとした印象で余韻に広がる濃厚なミネラルと力強いタンニンは、次の一杯をすぐに飲みたくなる後を引く美味しさです。

畑の向き:南、南東 面積:3.9ha 標高:230-260m 土壌:石灰・石灰岩 醸造:30°Cで発酵。28日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。オークの大樽で30ヶ月熟成後、9ヶ月瓶内熟成。
【2019VT】生産量:13,333本 【2020VT】生産量:16,666本

2019VT★パーカーポイント97点:卓越したワイン。美しい2019年モンテフィコは、完熟した果実やスパイス、ミネラルが見事に融合している。味わいにもその個性が表れ、洗練されたチョーキーなタンニンを持つ。力強く、凝縮感のある魅力的なフィニッシュ。完璧なバランスの良さが際立つワイン。《飲み頃:2026-2052年 | 2025/1/31掲載》

2019VT★ヴィノス93+点:2019年のモンテフィコは、今回試飲した中でも最もタニックなワインの一つ。2019年は開くまで時間を要するため、読者は辛抱強く待つことになるだろう。モンテフィコはそのボディ以上の直線的な力強さを持つバルバレスコだ。2019年はその特徴がかなり際立っている。時間を置くことでグラスの中で香りが美しく花開いていくはずだが、2019年はまだ閉じたままだ。《飲み頃:2026-2044年 | 2023/9掲載》 2019VT他誌評価:★ワイン・エンスージアスト95点 ★ジェームス・サックリング92点

2020VT★パーカーポイント96+点:2020年ヴィンテージで特に印象的だったのがモンテフィコとアジリの2本。モンテフィコの畑は、タナロ川渓谷に流れ込む暖かい空気の影響を受けにくく、円形劇場のような地形に囲まれている。ネイヴェ村を望む美しいロケーションにあり、石灰質の土壌で構成されている。このワインは、特にギュッと詰まった質感が特徴的で、ローズマリーやラベンダーを思わせるドライハーブの鮮やかな香りが地中海的または植物的なニュアンスを生む。口に含むと一瞬柔らかさを感じるものの、基本は、しっかりとした骨格を持つ豊かなワインである。《飲み頃:2026-2050年 | 2025/1/31掲載》

2020VT★ヴィノス96点:複雑で美しい重層的な味わいを持つ2020年モンテフィコには、このヴィンテージ、そして魅力的な土地の個性がしっかりと表現されている。香りだけをとっていても非常に複雑で、ドライハーブやミント、松、タバコ、スギの香りがあり、徐々にはっきりとした黒果実のニュアンスを帯びていく。垂直に伸びる、しっかりとした骨格を持つモンテフィコは実に素晴らしい出来栄。《飲み頃:2025-2035年 | 2024/9掲載》 2020VT他誌評価:★ワイン・スペクテーター94点



2019 Barbaresco Riserva Montestefano	上代価格	¥12,500(税抜)
2019 Barbaresco Riserva Montestefano	【1500ml】 上代価格	¥24,000(税抜)
2020 Barbaresco Riserva Montestefano	上代価格	¥11,000(税抜)

バルバレスコ リゼルヴァ モンテステファノー

JAN:4543190214131(2019VT), 4543190214209(1500ml),
4543190214537(2020VT)

「バルバレスコのバローロ」と呼ばれる、最もバローロに近い男性的な味わいのワインで、勾配の激しい斜面で水の少ない環境のため、一段とパワフルでタンニンの強いワインに仕上がります。円熟した黒果実を思わせる重厚な味わいのフルボディで、引き締まったタンニンが後味に広がります。

畑の向き:南、南東 面積:3.9ha 標高:230-280m 土壌:石灰・石灰岩 醸造:30°Cで発酵。28~32 日間果皮浸漬し、マロラクティック発酵を行う。オークの大樽で 30 ヶ月以上熟成後、9 ヶ月瓶内熟成。

【2019VT】生産量:13,698 本+1,484 本(マグナム) 【2020VT】生産量:16,304 本+1,848 本(マグナム)

2019VT★パーカーポイント 96 点:2019 年モンテステファノーは、2020 年とは全く異なる。コクのある豊潤な味わいで、このワインを特徴付けるエレガントなミネラル感がしっかりとした骨格と直線的なスタイルを生む。ダークフルーツの豊かな果実味とストラクチャーを備えたギュッと詰まった味わい。大胆かつ力強いタンニンを持ち、より長く熟成させる必要がある。《飲み頃:2025-2052 年 | 2025/1/31 掲載》

2019VT★ヴィノス 95 点:2019 年のモンテステファノーは、今の時点で、2019 年のリゼルヴァの中では最も完成度が高いと言えるだろう。上質な深みとたっぷりとしたタンニンを備え、内側から出てくる甘みが全体を引き締めている。品格と深みのあるテクスチャーを持ち合わせたモンテステファノーは、このラインナップの中で早くも私のお気に入りのワインだ。《飲み頃:2028-2039 年 | 2023/9 掲載》

2019VT 他誌評価:★ワイン・エンスージアスト 96 点 ★ジェームス・サックリング 94 点

2020VT★ヴィノス 97 点:2020 年モンテステファノーは、このラインナップの中で最もエレガントでフィネスに富んだワインの一つ。生き生きとした赤果実やブラッドオレンジ、スパイス、ミント、スギの香りが浮き立つように香り立つ。最近瓶詰されたにもかかわらず、驚くほど洗練されたタンニンが印象的。その落ち着きのある佇まいと優雅さに魅了される。これまでのモンテステファノーの中でも特にエレガントさが際立つ。2020 年は、古い区画の一部で植え替えがあったため、樹齢の若いブドウも使用されている。もし 2020 年のリゼルヴァの中から 1 本だけ選ぶとしたら、迷わずこのワインを選ぶ。《飲み頃:2025-2035 年 | 2024/9 掲載》

2020VT★ワイン・スペクテーター 96 点:バラの魅惑的な香りがあり、その奥にラズベリーやチェリー、白コショウ、ミネラルが仄かに香る。エレガントさとしっかりとした骨格を備えたワインで、洗練されたタンニンと生き生きとした酸が余韻に長く残る。余韻に再び白コショウのニュアンスが漂う。優れたバランスを持つ持続性のある味わい。《飲み頃:2028-2045 年 | 2025/4/23 掲載》

2020VT 他誌評価:★パーカーポイント 93 点

